

住んでよしの訪
健康まちづくりにつ
いて考えてよしの
in東温

ポスト・コロナ時代を見据えて、従来型の地域振興策を再考していく気運が高まっています。観光客のまなざしを活かしながら、住民にとってのQOL(クオリティ・オブ・ライフ)も同時に向上させていくこと、ハコモノに頼りすぎず地域そのものを活かすこと、マイクロ・ツーリズムの視点を取り入れること、その延長線上に新たな産業を興していくこと……。今回の「まちなか大学」では、日本各地に拡がりつつある健康保養地づくりの取り組みに深く関わってきた大城孝幸さん(日本クアオルト研究所代表)をお招きし、全国各地の先進事例について学ぶとともに、東温市を盛り上げる活動の実践者である森田将史さん(元東温市地域おこし協力隊)や富久千愛里さん(画家・だるま作家)にも話題提供いただき、これからの東温のまちづくりについて議論します。

2/22²⁰²³ 水 18:00-20:00

東温市農村環境改善センター(地域協働センター中予東温) 大会議室 & (オンライン [Zoom] 参加可)

#マイクロ・ツーリズム #滞在型保養観光 #健康ウォーキング #クアオルト #観光農園 #アート #東温

大城孝幸

おおしろ たかゆき

日本クアオルト研究所



2度の心臓手術の後に、ドイツで公的な医療保険が適用され、心筋梗塞や狭心症のリハビリに使われている運動療法(気候性地形療法/日本ではクアオルト健康ウォーキングという運動指導)にめぐり合う。これまで130以上の自治体を訪問して、クアオルト健康ウォーキングの啓発・普及に尽力している。2016年よりクアオルト健康ウォーキングアワードを主催・運営(特別協賛・太陽生命保険)。著書に『クアオルト・リテラシー』(日経BP刊)

森田将史

もりたまさし

はる農園
奥松瀬川地区集落支援員



京都府出身、元東温市地域おこし協力隊、奥松瀬川地区集落支援員、農業(はる農園)兼コンサルティング業。地域おこし協力隊を退任後は、就農して梨を中心とした果樹栽培を営むほか、地域運営組織の事務局や事業計画作りなどのコンサルティング事業を起業し、地域と一体となり、いつまでも住み続けたい地域づくりに取り組んでいる。

富久千愛里

とみひさちえり

画家/だるま作家



1981年愛媛県松山市生まれ。2006年頃から絵を描き個展をし始める。額縁工房「額師風雅」で7年程働き、退職。2011年頃から富久だるま道場としてだるまなどを作りはじめる。2022年に東温市へ移住。夫と子ども4人、猫4匹と暮らしている。

進行 /// 山口信夫 愛媛大学地域共創研究センター/地域協働センター中予

お問合せ
申し込み

愛媛大学地域共創研究センターまちなか大学担当
e-mail ▶ yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp (担当: 山口)

参加を希望される方はタイトルに「まちなか大学vol.5参加希望」と明記したうえで、本文に 1お名前(SNSネーム可)、2連絡先、3ご所属、4参加方法(対面orオンライン)をご記入のうえ、上記のアドレスまで電子メールでお申込みください(2/21締切)。ご不明な点についてのお問い合わせのみ、お電話でも受け付けています。Tel▶089-927-8512(愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室)



主催: 愛媛大学地域共創研究センター/地域協働センター中予

参加無料

要予約

対面定員 30名

オンライン

定員 30名